



かなざきひさの町政報告

(金崎ひさ)

カット 三留正子

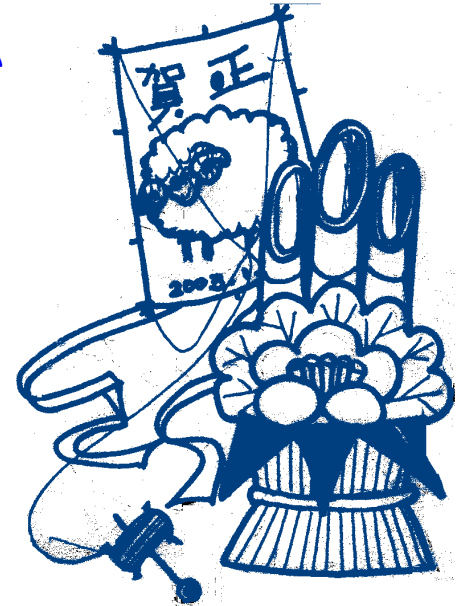
H19. 1. 12

かなざきひさを応援する会 会報 33号 事務局 上山口 1878 番地の 9 Tel & Fax 878-7961 かなざきひさの携帯 090-4076-2425
E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

葉山町議会平成 18 年第 4 回定例会が開催されました。

(期日平成 14 年 12 月 3 日～12 月 13 日)

- 神奈川県後期高齢者医療広域連合について
国の法律改正により、75 才以上の後期高齢者医療については平成 20 年 4 月から県単位で 設置する広域連合で行うこととなります。その準備として神奈川県は平成 19 年 1 月に広域連合を設置するため、今議会で、「神奈川県後期高齢者医療広域連合規約」「市町村分担金 1,218,000 円」が可決されました。後期高齢者医療制度の改正は高齢者にとって負担が増え、大変厳しいものとなっております。今後は町として、高齢者福祉のきめ細やかな政策の展開が必要です。
- 助役の名称が変わります。
4 月 1 日から助役が副町長となります。



○ かなざきひさの一般質問

(1) いじめ問題について

いじめ、そしてそれを苦にした自殺など大きな社会問題となっております。葉山町における現状の把握などについて、教育委員会に伺いました。

質問と提案	理事者側の答弁
いじめの定義とは。	文部科学省の基準によると、継続的に続いて相手が苦痛を感じているということだ。(教育長)
町立小中学校でのいじめの実状は。	その定義にかかわらずいじめと思われる事例は 18 年度 11 月までに小学校 6 人、中学校 6 人を把握している。(教育長)
そのうち、年度を越えて継続しているものは。	昨年度からの継続は 2 件である。(教育長)
その対応について。	保護者など関係者が早く気づき、スクールカウンセラーなどに積極的に相談をするなど、大変良い傾向である。(教育長)
いじめを防ぐ手立てと対策について。	早期発見、早期対応にそなえるための指導を行っており、児童・生徒から定期的にアンケートを取り、その情報を全教職員が共有し、いじめを許さない学校づくりを目指している。(教育長)
何気ない一言をいじめに発展させない大人の知恵が必要である。教育の場にも教職員以外の地域の人々の参加を促し、見守っていただくことも必要だと思うが。	研究をしてみる。(教育長)
いじめは環境が変化する時に解決できることがある。中学進学時のクラス編成などへの配慮は。	各小学校からの状況調査を、各中学校に提出しているの、それを参考に校長の権限でクラス編成をしている。配慮されているものと思っている。(教育長)
いじめにより不登校になった場合、転校などの配慮は。	対応している。(教育長)
総務省がいのちの電話と提携して、全国小中学校の児童・生徒全員にそのパンフレットを配布することを打ち出しているが、町として要望をしたか。	急を要することなので、すでに担当から通知している。(教育次長)
<p>かなざきひさの考え いじめに関するいたましい報道がたて続けに行われましたが、葉山のすべての子ども達が健やかに育つ環境づくりが、何よりも大切と考えております。「人が集まる所必ずいじめは存在する」と言う人もいます。それを基本に考えると、何気ない一言が人を傷つけ、その言葉を発した人もいじめのつもりはなかったということも大いにあると思います。教職員が子どもの心を感じ取ることの必要性は当然ですが、教育の場にも保護者やボランティアなど多くの地域の人々の参加を促して、新しい試みをしている自治体もあります。些細なことが重大ないじめに発展しないためにも、子ども達が先生や親以外に気軽に自分のことを話せる人の配置も必要なことと提案いたしました。</p>	

(2) ごみ問題について

葉山町の清掃費は町予算の13%を占めております。そのうちごみ処理費用は平成17年度決算で7億7,662万8,476円でした。清掃費の縮減を図るためにも、ごみの減量化が不可欠です。また、ごみ問題は町民との共通認識を持って行わなければ解決いたしません。町民に判り易いごみ収集方法の改善について質問いたしました。

質問と提案	理事者側の答弁
昨年10月から始まった容器包装プラスチックの分別収集の現状は。	週1回直営でスタートしたが、予定どおり順調に進行している。(町長)
ミックスペーパー収集の改善は。	平成19年度からはコスト面などを考慮し、週2回から週1回にする。(町長)
コスト面を考慮するなら、業者委託ではなく直営で行ってはいかがか。	基本的には委託を考えている。(福祉環境部長)
燃えるごみと同じ日に収集することに問題があると思うが、その改善は。	週2日の燃えるごみ収集日の1日をミックスペーパー収集日に当てる。諸事情を考慮に入れての対応であると理解している。(町長)
資源物収集日の設定は。	収集頻度やステーションなど解決しなければならない問題があるので今後の検討課題とさせていただきたい。(町長)
燃やせないごみは袋に入れて出しているが、ステーションで収集者がその袋をやぶって分別している。そしてその袋がごみとなり、1枚1円の処理費がかかっている。各家庭から箱に入れて出している方がいいか。	不条理な部分があることは承知しているが、町民の方々の利便性を考えて袋で出している。ステーションに分別箱を置くことは狭くて不可能な所もあるので難しい。(福祉環境部長)
ごみについて排出者責任を明確にするためにも、新聞紙・トレーは町として収集しないという方針を出してはいかがか。	自治体においても企業責任を真剣に考えていかなければ時期にきていると思うので指摘を踏まえて検討してみたい。(町長)
ペットボトルも排出者責任として各スーパーマーケットで収集をしていただくよう行政指導をしてはいかがか。	ユニオンで収集しているとのことなので、他のスーパーマーケットにも収集していただけるよう要請をしていく。(町長)
資源回収協力団体は各地区に配置されているのか。	下山口地区は協力団体が無い。(福祉環境部長)
資源回収協力団体への奨励金は現在1*。3円であるが、倍増しても雑誌・ダンボール・古布は回収をおまかせしてはいかがか。	各団体で実績の差が極めて大きいので、精査する必要がある。(福祉環境部長)
廃油の回収は。	クリーンセンターにドラム缶があるので、そこまで持ってきていただいて保管をし、一定の量になれば事業者の有料で引き取ってもらっている。(福祉環境部長)
給食廃油は無料で引き取ってもらっているので、町廃油もそのルートにのせるべきではないか。	教育委員会に伺い、検討してみる。(福祉環境部長)
現在では廃油は、石鹸やガソリンなどに有効利用できる大切な資源となっているので、是非検討をしていただきたい。	可能であればなるべく安価な方法で対応をしたい。(福祉環境部長)
<p>かなざきひさの考え ごみの問題は町民の皆様のご協力なくしては解決しません。そのためのPRが大切なことであり、平成18年10月から容器包装プラスチックの分別収集が開始されたことにより、判りやすく分別を明記したリーフレットを3月までに作成し、4月に配布予定です。それに合わせてごみの減量化に役立つような質問をいたしました。行政がどのように動くかは今後の問題ですが、町民の皆様には、是非新聞は新聞販売店の回収に、トレーはスーパーマーケットへ、雑誌・ダンボール・古布は資源回収団体へ出していただくようお願いいたします。特に古布は町に出すと焼却処分されますが、資源回収団体に出すとリサイクルされ、資源として活かされます。ご協力よろしく願いいたします。</p>	

ご挨拶 新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。かなざきひさを町政に送り出し、早8年が過ぎようとしております。議員2期目の区切りとして、皆様のご要望を受け、かなざきひさが提案し、解決できた主な事項をご報告いたします。

かなざきひさを応援する会会長 臼井太郎

- 町立保育園の障害児受け入れと建て替え
- 一色小学校区に学童クラブ設置
- JR逗子駅のバリアフリー化の一貫として、下り電車の1番線乗り入れの増便を要望しつつ、遂にエスカレーター・エレベーターの設置にいたる。
- 交通不便地解消のためのバス路線の変更
- 防災無線難聴区域にラジオ配布
- 重度障害者にタクシー券交付と範囲の拡大
- 放置ボートの撤去
- ドッグヤードの設置
- 長期滞在型避難所(体育館)の耐震補強



かなざきひさと井戸端会議をしませんか。
2,3人集まって、「一体どうなっているんだろう」という疑問を持ったら、かなざきひさにお電話下さい(090-4076-2425)。時間の許す限り、伺って知っていることをお伝えします。